

第11号（令和8年度1号）

みなみくり 南栗遺跡 発掘だより

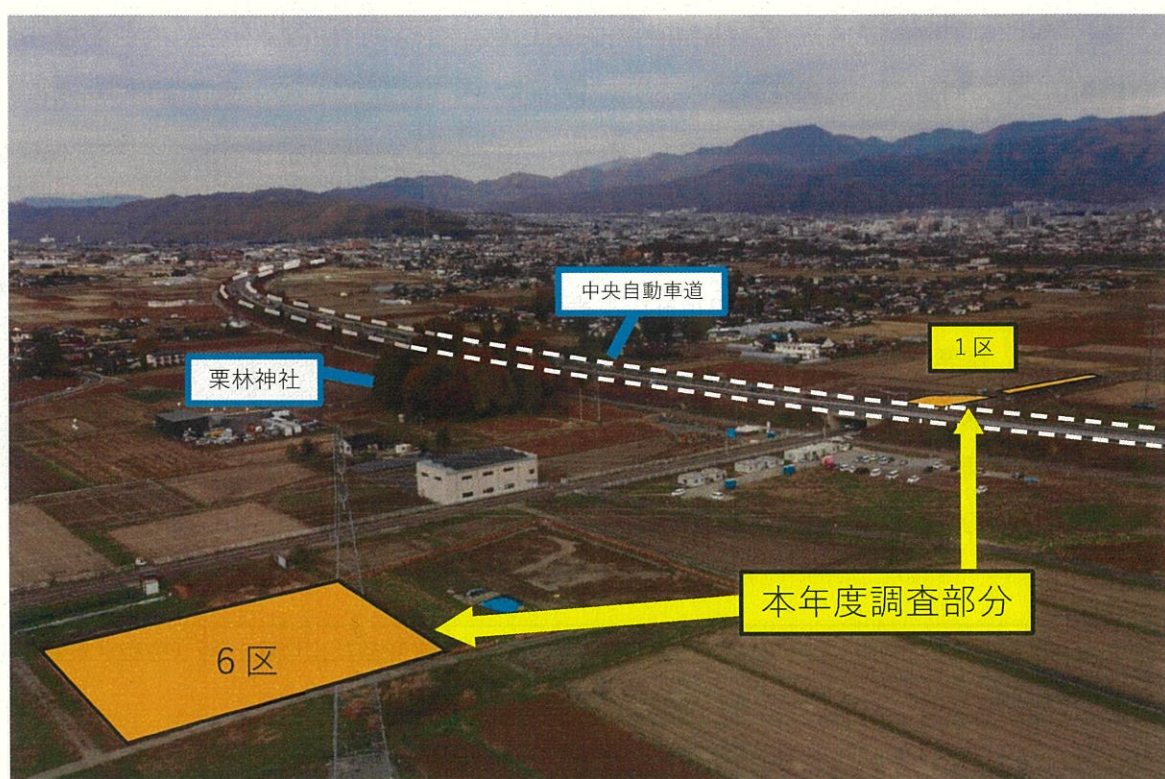
令和8年6月10日発行

◆令和8年度の発掘調査がはじまりました

4月から、今年度の南栗遺跡^{みなみくり}の発掘調査を開始しました。この調査は中部縦貫自動車道と中央自動車道長野線を結ぶ松本JCT建設に伴うもので、今年で5年目を迎えます。昨年度に引き続き、島立地区（1区・面積：1,650㎡）と和田地区（6区・面積：3,350㎡）の調査を行います。

南栗遺跡で発見された^{たてあなだてものあと}竪穴建物跡の軒数は中央自動車道建設、中部縦貫道建設、松本市による^{ほじょう}圃場整備等による発掘調査を含め600軒以上に上り、松本市内で最大級の古代集落と考えられています。また、集落が存在した期間は古墳時代末（7世紀後半）から中世（12世紀前半）にわたり、約500年もの間人々がこの場所に住み続けていたことが判明しました。

今年度の調査は4月から12月までを予定しています。調査区内には危険な場所もありますので、許可なく立ち入らないようにお願いします。見学を希望する方は、事前にご連絡ください。地域の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。



南栗遺跡（南西から 令和7年度撮影）